

令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目	情報科学（応用）	担当教員	佐藤 美幸	単位	1	学習時間数	30
目的	看護研究の基礎知識と必要な情報処理方法を学び、情報化に対応しうる能力を養う。						
目標	情報処理の基礎知識を活用し、看護で活用するデータの収集・処理方法・読み方・表し方の基礎を学ぶ。						
回	項目	内容			教授学習方法	備考	
1. 2	看護研究の基礎的知識 1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護研究とは</li> <li>2 看護研究の意義と目的</li> <li>3 研究テーマを探す</li> <li>4 文献検索・文献検討</li> </ol>			講義 (情報機器の利用)		
3. 4	看護研究の基礎的知識 2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文献を読んでみよう</li> <li>2 研究計画書とは</li> <li>3 研究計画書に含まれる内容</li> </ol>			講義		
5. 6	看護研究の基礎的知識 3	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 概念枠組み</li> <li>2 研究デザイン (実験研究)</li> <li>3 研究デザイン (調査研究)</li> </ol>			講義		
7. 8	看護研究の基礎的知識 4	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 研究デザイン (質的研究)</li> <li>2 研究デザイン (事例研究)</li> <li>3 研究の倫理的な問題</li> </ol>			講義		
9. 10	看護研究の基礎的知識 5	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 研究計画書を立ててみよう</li> </ol>			講義 (情報機器の利用)		
11. 12	データ整理の仕方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 データの整理の仕方 (量的研究)</li> <li>2 データの整理の仕方 (質的研究)</li> </ol>			講義 (情報機器の利用)		
13. 14	研究のまとめ方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 研究論文としてまとめる</li> <li>2 発表する</li> </ol>			講義 (情報機器の利用)		
15	試験						

評価の方法 : 試験 ( 80 ) 点 演習の提出物 ( 20 ) 点 合計100点

テキスト : 看護研究ビギナーズNOTE

令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目	文学1 (文学と看護)	担当教員	坂東 智子	単位	1	学習時間数	30
目的	文学作品を通して、自然の美しさや人の心の機微を感じ取ることのできる感性を養うとともに、人間に対する理解を深める。						
目標	古文を現代語訳することによって文章の基礎を学び、同時に内容を理解することによって人間的な感性を養う。						
回	項目	内 容			教授学習方法	備 考	
1		詩			講義		
2		ことばとは			講義		
3		源氏物語 親と子			講義		
4		源氏物語 親と子			講義		
5		源氏物語 形代			講義		
6		源氏物語 形代			講義		
7		源氏物語 季節・春			講義		
8		源氏物語 季節・秋			講義		
9		源氏物語 紫の上の遺言			講義		
10		挽歌・哀傷の歌			講義		
11		枕草子 清少納言の美意識			講義		
12		枕草子 清少納言の美意識			講義		
13		枕草子 定子と清少納言			講義		
14		形 (菊池寛)			講義		
15					試験		

評価の方法 : 授業内レポートと最終試験 (文章表現)

テキスト : なし 授業中に資料配布

令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目	文学2 (文章の書き方)	担当教員	坂東 智子	単位	1	学習時間数	15
目的	文章構成の基本を学び、表現力を高めるとともに論理的思考を身につける。						
目標	コミュニケーション能力を高め、自分の思いを相手に伝える練習を通して、説明文を中心に文章が書けるようにする。						
回	項目	内 容			教授学習方法	備 考	
1		文章の構成			演習		
2		文章の構成			演習		
3		文章の表現			演習		
4		文章の表現			演習		
5		書き方実例			演習		
6		書き方実例			演習		
7		書き方実例			演習		
8		試験			演習		

評価の方法 : 授業内レポートと最終試験

テキスト : 授業中に資料配布

令和 5 年 度 シ ラ バ ス (第二看護学科)

28期生 2年次

授業科目	人間関係論	担当教員	水田 亘	単位	1	学習時間数	30
目的	人間関係のダイナミクスに対する理解と目的に応じ、役割関係を展開する人間関係能力を養う。						
目標	看護のための人間関係論 ～知識と実践～ 自己理解と人間理解 ～コミュニケーション能力～						
回	項目	内 容			教授学習方法	備考	
1	対自的コミュニケーションⅠ	自己紹介 人間関係論概要			講義及び演習		
2	対自的コミュニケーションⅠ	人間関係を学ぶ問題意識 自己と他者①			講義及び演習		
3	対自的コミュニケーションⅡ	自己と他者② V. フランクルについて			講義及び演習		
4	対自的コミュニケーションⅡ	人間関係の基盤 言語・認知			講義及び演習		
5	対他的コミュニケーションⅠ	対人関係 基礎理論①			講義及び演習		
6	対他的コミュニケーションⅠ	対人関係 基礎理論②			講義及び演習		
7	対他的コミュニケーションⅡ	現代社会と人間関係			講義及び演習		
8	対他的コミュニケーションⅡ	家族と人間関係			講義及び演習		
9	対他的コミュニケーションⅢ	治療関係とカウンセリングの理論①			講義及び演習		
10	対他的コミュニケーションⅢ	治療関係とカウンセリングの理論②			講義及び演習		
11	対他的コミュニケーションⅣ	看護ケアや社会福祉援助における人間関係①			講義及び演習		
12	対他的コミュニケーションⅣ	看護ケアや社会福祉援助における人間関係②			講義及び演習		
13	対他的コミュニケーションⅤ	看護のための人間関係 エンパワーと解決志向			講義及び演習		
14	対他的コミュニケーションⅤ	地域と人間関係			講義及び演習		
15	筆記試験						

評価の方法：筆記試験（100点）

テキスト：なし

令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目		臨床医学1 (呼吸・循環・運動機能障害)		単位	1	学習時間数	30
担当教員	非常勤講師	実務経験	有・無	主な実務経験場所		備考参照	
目的	臨床における呼吸・循環・運動機能障害の病態生理・症状・治療・検査について学ぶ。						
回	項目	内 容			教授学習方法	備 考	
1～2	呼吸器疾患	肺炎・肺気腫・肺循環障害・肺腫瘍他			講義	長門総合病院 医師： 須田 博喜	
3～5	循環器疾患	狭心症・心筋梗塞・不整脈			講義	県立総合医療 センター 医師： 池田 安宏	
6～8	消化器疾患	肝硬変（食道静脈瘤）肝癌・肝炎・胆嚢炎 胃がん・膵臓癌・結腸癌・直腸癌 潰瘍性大腸炎・クローン病			講義	長門総合病院 医師： 三谷 伸之	
9～11	運動器疾患	骨折 慢性関節リウマチ 脊髄損傷 病態生理・症状・治療・検査			講義	長門総合病院 医師： 谷 泰弘	
12～13	小児疾患	代謝性疾患・内分泌疾患 免疫アレルギー疾患・感染症 呼吸器疾患・循環器疾患 消化器疾患・血液造血器疾患 悪性新生物・腎泌尿器疾患 神経疾患・運動器疾患			講義	長門総合病院 医師： 青木 宜治	
14	歯口腔疾患	歯・口腔の構造と機能 齲歯 歯髄疾患			講義	山口赤十字病 院 医師： 上村 俊介	
15	試験						

評価の方法：筆記試験

テキスト：成人看護学

令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目		臨床医学2 (代謝・生体防御・排せつ ・認知機能障害)		単位	1	学習時間数	30
担当教員	非常勤講師	実務経験	有・無	主な実務経験場所		備考参照	
目的	臨床における代謝・生体防御・排せつ・認知機能障害の病態生理・症状・検査について学ぶ。						
回	項目	内 容			教授学習方法	備 考	
1~2	アレルギー 膠原病 血液疾患	全身性エリテマトーデス 白血球 悪性リンパ腫 血友病			講義	長門総合病院 医師： 香月 憲作	
3~4	内分泌・代謝 疾患	甲状腺機能亢進症 糖尿病 高脂血症			講義	県立総合医療セ ンター 医師： 竹田 孔明	
5~8	脳外科疾患	脳梗塞 くも膜下出血 脳腫瘍 頭部外傷 病態生理・症状・治療・検査			講義	都志見病院 医師： 殖木 洋平	
9~10	脳内科疾患	パーキンソン病 重症筋無力症 進行性筋ジストロフィー症 ALS 病態生理・症状・治療・検査			講義	萩慈生病院 医師： 多田 穰治	
11~13	腎泌尿器疾患	腎腫瘍 膀胱腫瘍 尿路結石 腎不全(人工透析・腎移植)			講義	長門総合病院 医師： 北原 誠司	
14	皮膚疾患	湿疹・皮膚炎 接触皮膚炎 細菌感染症 ウイルス感染症 皮膚良好腫瘍 皮膚悪性腫瘍			講義	県立総合医療セ ンター 医師： 武藤 正彦	
15	試 験				筆記試験		

評価の方法 : 筆記試験

テキスト : 成人看護学

令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目		臨床医学3 (性機能・感覚機能・栄養機能障害)		単位	1	学習時間数	30
担当教員	非常勤講師	実務経験	有 無	主な実務経験場所		備考参照	
目的	臨床における性機能・感覚機能・栄養機能障害の病態生理・症状・検査について学ぶ。						
回	項目	内 容			教授学習方法	備 考	
1~7	外科疾患	胸部外科（肺がん・乳がん）・心臓外科 胃十二指腸疾患・結腸癌・胃がん・直腸癌 動脈瘤・イレウス・食道静脈瘤破裂 麻酔学			講義	長門総合病院 医師： 久我 貴之	
8~9	耳鼻咽喉科疾患	中耳炎 メニエール病 副鼻腔炎 喉頭がん			講義	都志見病院 医師： 岡崎 英紀	
10~11	放射線医学	放射線を利用した検査と治療 放射線療法 防護			講義	長門総合病院 医師： 須田 博喜	
12~13	眼疾患	眼の構造と治療 視機能障害 眼底疾患 外眼部疾患 内眼部疾患			講義	さがら眼科 クリニック 医師： 相良 健	
14~15	母性生殖器 母性疾患	月経の機序・月経異常・無月経 子宮筋腫・子宮がん・更年期障害 胎児の生理・分娩時の異常 妊婦の生理・妊娠の異常・外妊			講義	都志見病院 医師： 宗 完子	

評価の方法 : 筆記試験

テキスト : 成人看護学

令和5年度シラバス(第二看護学科)

28期生 2年次

授業科目		公衆衛生学	単位	1	学習時間数	15
担当 教員		実務経験		主な実務経験場所		
	非常勤講師	有・無		備考参照		
目的	公衆衛生のヘルスプロモーションを学び、自分自身の健康づくりとともに、家族や職場の健康づくり、地域での総合的健康づくりを推進する方法論を学ぶ。公衆衛生に関連する統計情報と衛生行政を知り、看護の役割について学ぶ。					
目標	1 公衆衛生の理念としくみについて理解する。 2 地域における公衆衛生の実践を理解する。 3 集団の健康をとらえるための疫学・保健統計について理解する。 4 環境と健康、感染症の予防と対策、健康危機管理の知識・技法について理解する。					
回	項目	内 容		教授学習方法	備 考	
1	公衆衛生とは何か 公衆衛生の歴史	1 公衆衛生の目的 2 公衆衛生の歴史 3 新たな公衆衛生の理念 (1) プライマリーヘルスケア (2) ヘルスプロモーション		講義	萩健康福祉センター 所長:高橋 幸広	
	公衆衛生の活動対象 公衆衛生のしくみ	1 社会集団 2 社会集団をとらえる視座 3 政策展開 4 国と地方自治体の役割		講義		
2・3	環境と健康 感染症とその予防策	1 疫学と健康指標 2 地球規模の環境と健康 3 身のまわりの環境と健康 4 日本の環境行政 5 国際保健 6 感染症とその予防		講義	萩健康福祉センター 所長:高橋 幸広	
4	地域における保健活動	1 地域保健 (1) 地域保健法 (2) 健康増進法 (3) 健康日本21 2 健康危機管理 3 災害保険		講義	長門健康福祉セン ター 保健師 福田 昭子	
5		1 母子保健 (1) 母子保健法 (2) 健やか親子21 (第2次) (3) 母体保護法		講義	保健師:滝川洋子	
6		1 精神保健 (1) 精神保健医療福祉の施策 (2) 精神障害者(児)の医療と福祉 (3) 心の健康対策 (4) 発達障害に関する医療と福祉 (5) 自殺対策基本法 2 難病保健		講義	長門健康福祉セン ター 保健師 庵下 恭代	
7	職場と健康	1 産業保健とは 2 労働者の健康問題 3 産業保健・看護の展開		講義	フロンティア大学 講師 立川美香	
8	試験	試験				

評価の方法:筆記試験

テキスト:系統看護学講座 専門基礎8 公衆衛生 医学書院  
国民衛生の動向



令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目	社会福祉	担当教員	横山 順一	単位	1	学習時間数	15
目的	対象の生活上の諸問題に対しての社会福祉制度を理解する。						
目標	1 社会福祉制度及び社会保健制度を含む日本の社会保障の法制度及びその対象者及びソーシャルワークの概要を理解する。 2 社会資源と医療保障の関連について学び、保健・医療・福祉の協働の意義を理解し、看護の役割を学ぶ。 3 介護保険制度の仕組みを理解する。						
回	項目	内 容			教授学習方法	備 考	
1	社会福祉の基本的性格	社会福祉の意味 社会福祉の理念 社会福祉の体系					
2	生活問題の展開と社会福祉の基本的動向	生活問題の展開 社会福祉の基本的動向 (政策および実践の動向)					
3	社会保障制度と社会福祉制度	社会保障制度の概要 社会保障の機能 (所得再分配など) 社会福祉の法制度 (福祉六法)					
4	社会保健制度	年金保険制度 医療保険制度 労働者保険制度 (労災保険・雇用保険)					
5	社会福祉の分野とサービス	母子・児童福祉 性格困窮者 障害福祉					
6	社会福祉の共通基盤	社会福祉援助の基礎理論					
7	介護保険制度	高齢者の生活の現状と課題					
8	障害者自立支援制度	障害者自立支援法の成立背景と現状					

評価の方法 : 筆記試験100点

テキスト : 「社会福祉」医学書院

参考文献 : 適宜紹介

令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目		成人臨床看護論1		単位	1	学習時間数	30
担当教員	林 千恵子	実務経験	○・無	主な実務経験場所		山口県立総合医療センター	
目的	循環機能、呼吸機能、栄養摂取機能に障害のある対象・家族を理解し、健康レベルに応じた看護を学ぶ。						
目標	1 疾患の病態や機能障害における症状とその看護を理解する。 2 検査及び病期に応じた治療とその看護を理解する。 3 機能障害を持ちながら生活する患者・家族への看護を理解する。						
回	項目	内 容			教授学習方法	備考	
1	循環機能障害のある患者の看護	1 循環機能障害の原因と機能障害 ポンプ機能障害 血管・リンパ管障害 刺激伝導系の障害			講義	【テキスト】 成人看護学3 (循環器)	
2		1 虚血性心疾患をもつ患者の病期や機能障害に応じた看護 心臓カテーテル検査 心血管造影検査 経皮的冠動脈形成術 (PCI) 冠動脈バイパス術 (CABG)					
3		1 心不全患者の病期や機能障害に応じた看護 心エコー検査・大動脈内バルーンパンピング					
4		1 不整脈のある患者の病期や機能障害に応じた看護 心電図 ペースメーカー装着					
5	呼吸機能障害のある患者の看護	1 呼吸機能障害の原因と機能障害 酸素化障害 換気障害 呼吸運動障害			講義	【テキスト】 成人看護学2 (呼吸器)	
6		1 慢性閉塞性肺疾患をもつ患者の病期や機能障害に応じた看護					
7		呼吸機能検査 動脈血液ガス分析					
8		1 肺がんをもつ患者の病期や機能障害に応じた看護 気管支鏡検査 肺生検 胸腔穿刺 肺切除術					
9	栄養摂取障害のある患者の看護	1 栄養摂取機能障害の原因と機能障害 咀嚼・嚥下障害の原因と程度 消化管機能障害 膵液分泌障害			講義 看護過程	【テキスト】 成人看護学5 (消化器)  臨床外科看護総論 臨床外科看護各論	
10		1 胃がんをもつ患者の病期や機能障害に応じた看護 上部消化管内視鏡検査 上部消化管造影検査 手術後ドレナージ					
11		1 食道がんをもつ患者の看護 食道切除術					
12		1 大腸がん切除術を受ける患者の病期や機能障害に応じた看護 大腸内視鏡検査 下部消化管造影検査 大腸切除術					
13		1 膵切除術を受ける患者の看護 胆嚢摘出術（腹腔鏡手術）を受ける患者の看護					
14	侵襲的治療とボディイメージの変化	1 ボディイメージの変化に対する看護 人工肛門造設術を受ける患者の看護 2 乳がんをもつ患者の病期や機能障害に応じた看護 マンモグラフィ 乳房超音波検査 乳房切除術			講義 看護過程	【テキスト】 成人看護学5 (消化器)  成人看護学9 (女性生殖器)	
15	試験				筆記試験		

評価の方法：筆記試験、レポート

テキスト：成人看護学2, 3, 5, 9 医学書院

臨床外科看護総論 医学書院, 臨床外科看護各論 医学書院

病態生理学 医学書院

参考文献：実習でよく挙げる看護診断・計画ガイド 照林社

看護診断ハンドブック 医学書院

看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 学研

令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目		成人臨床看護論2		単位	1	学習時間数	15
担当教員	林 千恵子	実務経験	☞・無	主な実務経験場所		山口県立総合医療センター	
目的	認知機能、感覚機能、代謝・体温調節機能に障害のある対象・家族を理解し、健康レベルに応じた看護を学ぶ。						
目標	1 疾患の病態や機能障害における症状とその看護を理解する。 2 検査及び病期に応じた治療とその看護を理解する。 3 機能障害を持ちながら生活する患者・家族への看護を理解する。						
回	項目	内 容			教授学習方法	備考	
1	脳・神経障害	1 脳・神経障害の原因と機能障害 生命維持活動調節機能障害の原因と症状 運動・感覚機能、言語、高次脳機能障害の原因と症状			講義	【テキスト】 成人看護学7 (脳・神経)  臨床外科看護総論 臨床外科看護各論	
2		2 脳・神経機能障害がもたらす生命・生活への影響					
3		1 クモ膜下出血のある患者の病期（検査・治療）や機能障害に応じた看護 脳脊髄液検査 脳血管造影 開頭術・脳室ドレナージ術・脳室-腹腔シャント術 血管内治療（血栓溶解療法・静脈瘤塞栓術） 頭蓋内圧亢進症					
4	代謝・体温調節機能障害	1 内分泌機能障害の原因と機能障害 ホルモン血中・尿中濃度試験 ホルモン負荷試験 生活への影響			講義	【テキスト】 成人看護学6 (内分泌・代謝)  成人看護学総論	
5		2 甲状腺疾患をもつ患者の病期や機能障害に応じた看護 甲状腺ホルモン療法、甲状腺切除術					
6		1 代謝機能障害の原因と機能障害 2 2型糖尿病をもつ患者の病期や機能障害に応じた看護 糖負荷試験 血糖自己測定 糖尿病の食事療法・運動療法・薬物療法の援助 糖尿病の合併症予防と生活指導					
7	感覚機能障害	1 視覚障害の原因と機能障害 2 網膜剥離にある患者の病期や機能障害に応じた看護 眼底検査 眼底光凝固療法 網膜剥離治療 3 機能障害をもちながら生活する人の看護 中途視覚障害者の看護			講義	【テキスト】 成人看護学13 (眼)  成人看護学14 (耳鼻咽喉)	
8		1 聴覚障害、嗅覚障害の原因と機能障害 2 鼓室形成術を受ける患者の看護 3 副鼻腔炎にある患者の看護					
	試験				筆記試験		

評価の方法：筆記試験

テキスト：成人看護学6, 7, 13, 14 医学書院

成人看護学総論 医学書院

臨床外科看護総論 医学書院, 臨床外科看護各論 医学書院

病態生理学 医学書院

参考文献：実習でよく挙げる看護診断・計画ガイド 照林社

看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 学研

# 令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目	老年看護援助論 1	単位	1	学習時間数	30
担当 教員		実務経験	主な実務経験場所		
	渡辺 英子 (28)	(有)・無	山口県立こころの医療センター		
	非常勤講師 (2)	(有)・無	備考参照		
目的	加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化を理解し、高齢者の生活を支える看護を学ぶ。				
目標	1 老年看護の基本を理解できる。 2 加齢変化により起こる症状の理解と、生活への影響を理解できる。 3 主要症状に添った看護を理解できる。 4 日常生活援助に必要な看護技術を理解できる。 5 治療を受ける高齢者への看護を理解できる。				
回	項 目	内 容	教授学習方法	備考	
1	老年看護の基本	1 老年看護とは (1) 老年看護の役割 (2) ICFモデル (3) 高齢者のアセスメント	講義		
2 3 4	加齢変化に よって起こる 主要症状と看護	1 心理・精神的徴候 2 身体的徴候 (1) 痛み (2) かゆみ (3) 脱水 (4) 浮腫 (5) 褥瘡	講義 グループ ワーク		
5 6 7 8 9	日常生活を支 える看護	1 基本動作と環境 2 食生活 3 排泄 4 清潔 5 休息と睡眠	講義		
10  11	高齢者の 治療と看護	1 薬物療法を受ける高齢者の看護 (1) 加齢に伴う薬物動態の変化 (2) 高齢者に特徴的な薬物有害事象 (3) 服薬管理とリスクマネジメント 2 手術療法を受ける高齢者の看護 (1) 手術が高齢者に与える影響 (2) 術前の看護マネジメント (3) 術後の看護マネジメント	講義		
12	高齢者の 安全管理	1 高齢者と医療安全 (1) 高齢者特有のリスク要因 (2) 高齢者がみまわれやすい医療事故と対策	講義		
13 14	看護過程の 展開	1 高齢者の特徴をいかした看護過程 (1) 生活行動モデルによる看護過程 (2) 目標志向型思考	講義 グループ ワーク		
15	透析看護	透析を受ける患者の看護 (入院・在宅)	講義	都志見病院 看護師： 伊藤裕二	

評価 : 筆記試験・グループワーク内容を総合的に評価して100点

テキスト : 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 病態・疾患論 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野 成人看護学8 腎・泌尿器 医学書院  
 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院

参考文献 : 看護過程に沿った対症看護

令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目	小児臨床看護論1 (状況に応じた看護)	単位	1	学習時間数	30	
担当 教員		実務経験	主な実務経験場所			
	光來 千尋 (18)	○・無	山口県立総合医療センター			
	非常勤講師 (10)	○・無	備考参照			
	非常勤講師 (2)	○・無	備考参照			
目的	健康障害や入院が小児とその家族に及ぼす影響について理解し、健康障害をもつ小児とその家族の看護について学ぶ。					
目標	1 健康障害や入院が小児とその家族に及ぼす影響について発達段階別に理解する。 2 小児看護に必要な援助技術の意義と方法を理解する。 3 小児特有の疾患を中心に病態、症状、診断、検査、治療、予後について理解する。					
回数	項目	内 容		教授学習方法	備考	
1	病気や入院が小児と家族に与える影響	1 小児看護における倫理 2 病気や入院が小児と家族に与える影響 3 病気になった小児と家族		講義 事例検討	光來	
2	さまざまな状況にある小児と家族の看護	1 検査や処置を受ける小児と家族の看護 (1) 発達に応じたプレパレーション (2) 小児とコミュニケーション		講義 グループ討議		
3		(3) フィジカルアセスメント		講義		
4, 5		(4) バイタルサイン測定 (5) 身体計測		講義 演習		
6		(6) 検査と処置時の看護		講義		
7		2 活動制限が必要な小児と家族への看護				
8		3 感染対策上隔離が必要な小児と家族への看護				
		4 痛みを表現している小児と家族への看護				
9		外来における小児と家族 (1) 緊急度の把握・トリアージ (2) 受診時の小児と家族 (3) 安全の確保と緊張と不安の軽減 (4) 家庭での療養生活に対する支援の実際		講義		萩市民病院 看護師： 赤川美紀
10		小児特有の疾患とその病態	1 アレルギー性疾患・免疫疾患			講義
11			2 呼吸器感染症			
12	3 内分泌疾患					
13	4 感染症					
	5 消化器疾患					
	6 循環器疾患					
14	7 血液疾患					
	8 泌尿器疾患					
15	9 神経・筋疾患					
15	筆記試験					

評価の方法：筆記試験・個人ワーク・授業参加状況により総合的に評価する。（配点：青木30点 光來70点）

テキスト：系統的看護学講座小児看護学①、②（医学書院）

参考文献：小児看護実習ガイド（照林社） こどもの病気の地図帳（講談社）

ナシカグラフィカ 小児看護学①②（メディカ出版）

写真でわかる小児看護技術（インターメディカ）

# 令和5年度シラバス(第二看護学科)

28期生 2年次

授業科目	小児臨床看護論2 (健康障害)	単位	1	学習時間数	30	
担当教員	光来 千尋	実務経験	有・無	主な実務経験場所	山口県立総合医療センター	
目的	健康障害のある小児とその家族が生活・療養するための看護について学ぶ。					
目標	1 健康障害の病期が小児と家族に与える影響を理解する。 2 さまざまな状況にある小児とその家族の看護を理解する。					
回	項目	内容			教授学習方法	備考
1	急性症状のある小児と家族の看護	1 急性期の特徴と看護			講義	
2		2 発熱時の看護				
3		3 脱水時の看護				
4		4 下痢・嘔吐がある時の看護				
		5 呼吸困難がある時の看護				
6 けいれんがある時の看護						
7 生命徴候が危険な状況にある小児と家族への看護						
5	救急救命処置が必要な小児と家族の看護	1 小児の事故・外傷の特徴				
2 小児の緊急におけるトリアージと対応						
3 主な誤飲物質と処置						
4 小児の熱傷の特徴・重症度及び処置						
5 溺水と処置						
6 頭部外傷						
6	周手術期における小児と家族の看護	1 小児の手術の特徴				
2 手術を要する健康障害と手術の時期						
7		3 計画手術と緊急手術				
		4 日帰り手術				
5 手術を受ける小児と家族への看護						
8	慢性期にある小児と家族の看護	1 疾患の特徴と治療			講義 事例検討	
9		2 疾患による小児と家族の生活の変化				
10		3 小児のセルフケアの獲得への援助と家族への看護				
		4 医療的ケアを必要として退院する小児と家族 (1) 在宅への移行に向けた支援 (2) 在宅療養中の小児と家族				
11	終末期にある小児と家族の看護	1 小児の死の概念			講義	
12		2 死に対する小児の反応				
		3 終末期にある小児の心身の状態と緩和ケア				
13	災害を受けた小児と家族の看護	4 小児の死を看取る家族の反応				
		1 小児への影響とストレス				
14	小児期特有の症状を持つ小児と家族の看護	2 小児と家族への援助				
		1 ハイリスク新生児と家族				
		2 先天的疾患のある小児と家族				
15	筆記試験	3 心身障害のある小児と家族			講義	

評価の方法 : 筆記試験・個人ワーク・授業参加状況により総合的に評価する。

テキスト : 系統的看護学講座小児看護学①、②(医学書院)

参考文献 : 小児看護実習ガイド(照林社) こどもの病気の地図帳(講談社)

写真でわかる小児看護技術(インターメディカ)

令和5年度シラバス(第二看護学科)

28期生2年次

授業科目		母性臨床看護論Ⅰ (周産期の看護)		単位	1	学習時間数	30
担当教員	戸川 優子	実務経験	有・無	主な実務経験場所		山口県立総合医療センター	
目的	妊娠・分娩・産褥及び新生児期の母子が経験する身体的・心理的・社会的変化を理解し、母子の健康の保持・増進・疾病の予防のために、家族を含めた看護を学ぶ。						
目標	1 妊娠・分娩・産褥及び新生児期の生理的変化、経過及び母子、夫、家族に対して必要な看護を理解する。 2 周産期の健康課題が母性機能・母性役割の遂行に与える影響(健康問題と母性機能・母性役割の遂行との関連)がわかる。 3 母性機能・母性役割遂行のために、疾病の予防と健康課題及び健康回復の援助がわかる。						
回	項目	内 容			教授学習方法	備考	
1	妊娠期における看護	1 妊娠期の身体的・心理的・社会的特徴			講義 グループワーク		
2		(1) 妊娠の生理 (2) 胎児の発育と生理					
3・4		(3) 母体の生理的変化					
		(4) 妊婦の心理的特徴 (5) 妊婦と家族及び社会					
5・6・7	分娩期における看護	2 妊婦と胎児の健康と生活のアセスメント			講義 グループワーク		
		(1) 妊娠の経過と診断					
		(2) 胎児の発育と健康状態の診断					
		(3) 妊婦と胎児の経過診断と生活のアセスメント					
8	新生児期における看護	(4) 妊婦と家族の心理・社会面のアセスメント			講義 グループワーク		
		(5) 妊娠期のアセスメントの重要性					
		3 妊婦と家族の看護					
		(1) 妊婦が受ける母子保健サービス					
9	産褥期における看護	(2) 親になるための準備教育 ・ 出産・育児の準備 ・ 親役割の準備			講義 グループワーク		
		1 分娩の要素と経過					
		(1) 分娩の3要素					
		(2) 分娩の進行と産婦の身体的変化					
10	看護過程の展開	(3) 産痛の機序			講義 グループワーク		
		(4) 胎児に及ぼす影響					
		(5) 産婦の心理・社会的変化					
		2 産婦・胎児、家族のアセスメント					
11	母性看護技術	(1) 産婦と胎児の健康状態のアセスメント			講義		
		(2) 産婦と家族の心理・社会面のアセスメント					
		3 産婦と家族の看護					
		(1) 看護目標と産婦のニード					
12・13	試験	(2) 安全な分娩への看護			演習		
		(3) 安楽な分娩への看護					
		(4) 出産体験が肯定的になるための看護					
		(5) 基本的ニードに関する看護					
14	試験	1 新生児の生理			講義		
		2 新生児の健康状態のアセスメント					
		3 新生児の看護					
		(1) 出生直後の看護					
15	試験	(2) 出生後から退院までの看護			講義 グループワーク		
		1 産褥期の身体的・心理的・社会的特徴					
		(1) 産褥の定義					
		(2) 退行性変化、進行性変化					
16	試験	(3) 産褥期の心理・社会的変化			講義		
		2 褥婦と家族の看護					
		(1) 身体機能回復及び進行性変化への看護					
		(2) 児との関係確立への看護					
17	試験	(3) 育児技術にかかわる援助			講義 グループワーク		
		(4) 家族関係再構築への看護					
		1 看護過程の展開					
		(1) マタニティサイクルにある対象の看護の特徴					
18	試験	(2) ウェルネス型診断とは			演習		
		2 褥婦・新生児のアセスメント					
		(1) 産褥経過の診断					
		(2) 褥婦の健康状態のアセスメント					
19	試験	1 レオポルド触診法			演習		
		2 子宮底・腹囲測定					
		3 沐浴					
		4 臍処置					
20	試験	5 おむつ交換			演習		

評価の方法：試験(90点) 演習(10点)

テキスト：系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学2 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 母性看護学1 医学書院

令和5年度シラバス（第二看護学科）  
28期生2年次

授業科目	母性臨床看護論2 (ハイリスク周産期)	単位	1	学習時間数	30		
担当 教員	戸川 優子 (20)	実務経験 ○・無	主な実務経験場所 山口県立総合医療センター				
	非常勤講師 (2)	○・無	備考参照				
	非常勤講師 (8)	○・無	備考参照				
目的	周産期に起こりやすいハイリスクな状態を学び、健全な母性遂行のために、疾患の予防と看護を学ぶ。						
目標	1 妊娠・分娩・産褥及び新生児期におけるハイリスクな状態の母子及びその家族看護について理解する。 2 周産期の健康課題が母性機能・母性役割の遂行に与える影響（健康問題と母性機能・母性役割の遂行との関連）がわかる。 3 妊娠・分娩・産褥経過中にみられる異常、妊婦・産婦・褥婦及び胎児・新生児に起こる問題について理解し、健康状態のアセスメントと看護について学ぶ。						
回	項目	内 容		教授学習方法	備考		
1	治療が必要な 母子への看護	1 ハイリスク妊娠 2 妊娠期の感染症 3 妊娠の異常と看護 (1) 妊娠悪阻の妊婦の看護 (2) 異所性妊娠の妊婦の看護 (3) 不育症・流産・早産の妊婦の看護		講義 グループワーク			
2		(4) 前置胎盤の妊婦の看護 (5) 常位胎盤早期剥離の妊婦の看護 (6) 妊娠高血圧症候群の妊婦の看護					
3・4		(7) 血液型不適合妊娠の妊婦の看護 (8) 多胎妊娠の妊婦の看護 (9) ハイリスク妊婦の看護		講義			
5		4 分娩の異常と看護 (1) 分娩の3要素に異常のある産婦(胎児)の看護 (2) 急速遂娩を受ける産婦の看護		講義			
6		(3) 分娩時異常出血のある産婦の看護 (4) 胎児機能不全を生じるリスクのある産婦の看護 (5) 分娩時の損傷を生じた産婦の看護		講義 グループワーク			
7		5 新生児の異常と看護 (1) 新生児仮死と看護 (2) 分娩時外傷 (3) 低出生体重児・早産児の看護 (4) 高ビリルビン血症児の看護		講義		長門総合病院 助産師： 藤本富美江	
8		6 産褥の異常と看護 (1) 子宮復古不全の褥婦の看護 (2) 発熱のある褥婦の看護 (3) 産褥血栓症の褥婦の看護 (4) 乳房トラブルのある褥婦の看護		講義 グループワーク			
9		(5) 母子分離時の褥婦の看護 (6) 死産、障害を持つ新生児を出産した親の看護 (7) 精神障害のある褥婦の看護		講義 DVD視聴			
10		7 女性生殖器疾患の看護 (1) 子宮頸がん・体がん		講義			
11		周産期における 疾患	1 妊娠高血圧症候群 2 偶発全身性疾患：糖尿病・心疾患・血液疾患 3 多胎妊娠			講義 スライド	都志見病院 医師：宗完子
12			4 卵膜の異常：前期破水 5 羊水の異常：羊水過多症・羊水過少症 6 胎状奇胎・子宮外妊娠・流早産・過期妊娠				
13	7 胎児の異常 8 妊娠中の感染症：TORCH症候群・梅毒・肝炎・HIV・成人T細胞白血病						
14	9 前置胎盤・常位胎盤早期剥離・分娩時の損傷 10 分娩時の異常出血・帝王切開術・産褥感染症						
15	11 子宮復古不全・乳房の異常・産褥血栓症						
15	試験						

評価の方法：試験 田中 (70点) 宗 (30点)

テキスト：系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学2 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 母性看護学1 医学書院  
 系統看護学講座 専門分野 女性生殖器 成人看護学9 医学書院



# 令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目	精神臨床看護論1	単位	1	学習時間数	30
担当 教員		実務経験	主な実務経験場所		
	渡辺 英子：(22)	○有・無	山口県立こころの医療センター		
	非常勤講師（8）	○有・無	備考参照		
目的	精神に障害を持つ対象の疾患を理解し、検査・治療を受ける対象及びその家族への看護を学ぶ。				
目標	1 精神疾患・精神障害について理解する。 2 治療的環境について理解する。 3 精神に障害をもつ対象の検査及びその看護について理解する。 4 精神に障害をもつ対象の治療及びその看護について理解する。 5 精神看護における安全管理について理解する。				
回	内 容			教授学習方法	備考
1～4	精神疾患	1 統合失調症 2 気分障害 3 アルコール依存症 4 パーソナリティ障害 病態、病気の経過、治療		講義	山口県立こころの医療センター医師 兼行 浩史（4） 角田 武久（4）
5	治療的環境	1 精神疾患患者の理解		講義	
6		2 精神障害者の権利擁護と倫理的問題			
7		3 入院形態			
8		4 行動制限と看護			
9 10	検査時の看護	1 身体的検査 2 心理検査 (1) 知能検査 (2) 記銘力検査 (3) 人格検査		講義	
11	治療と看護	1 薬物療法時の看護		講義	
12		2 電気けいれん療法時の看護			
13		3 心理・社会的療法と看護			
		(1) 精神療法			
		(2) 認知行動療法			
14	(3) 心理教育、生活技能訓練（SST）				
14	4 精神看護における安全管理				
15	試験				

評価 : 筆記試験(兼行：20点、角田：20点、宮本：60点)  
 テキスト : 系統看護学講座 専門分野 精神看護学1・2 医学書院  
 参考文献 : 生涯人間発達論

令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生 2年次

授業科目	精神臨床看護論2		単位	1	学習時間数	30
担当 教員			実務経験	主な実務経験場所		
	渡辺 英子：(28)		有・無	山口県立こころの医療センター		
	非常勤講師（2）		有・無	備考参照		
目的	精神障害が対象の日常生活に及ぼす影響を理解し、障害を抱えながら生活する対象及びその家族への看護を学ぶ。					
目標	1 精神障害が日常生活に及ぼす影響を知り、その看護を理解する。 2 疾患別・症状に合わせた看護について理解する。 3 精神に障害をもつ対象の家族に対する看護を理解する。 4 精神に障害をもつ対象が地域社会で生活していくために必要な援助と支援システムについて理解する。					
回	項目	内 容			教授学習方法	備考
1	精神障害の特徴と その看護	1 幻覚・妄想 2 せん妄状態			講義	
2		3 躁・抑うつ状態 4 興奮状態				
3		5 強迫行為 6 意欲減退状態・ひきこもり				
4		7 拒絶・拒否 8 依存				
5	疾患別、経過別看護	1 統合失調症			講義	
6		2 気分（感情）障害				
7		3 精神作用物質使用による精神・行動の障害				
8		4 神経症性障害、摂食障害				
		5 パーソナリティ障害、発達障害				
		1～5それぞれの (1) 症状・経過（急性期・回復期・慢性期） (2) 治療・看護				
9	地域での生活を支 えるための法律と 制度	1 障害者総合支援法 2 社会資源の活用とケアマネジメント 3 包括型地域生活支援プログラム（ACT） 4 ストレングスマデル・リカバリー			講義	
10	患者を支える家族	1 家族のストレスと健康状態のアセスメント 2 家族システムのアセスメント 3 患者－家族関係 4 家族と感情表出			講義	
11 12 13	看護過程の展開	1 精神看護の看護過程 (1) 全体像・看護問題・看護目標・看護計画			講義・演習	
14	地域精神保健 活動の実際	1 精神保健医療福祉サービスの実際 2 精神保健医療福祉における連携			講義	精神保健福祉 センター 保健師： 佐野佐恵美
15	試験					

評価 : 筆記試験（100点）

テキスト : 系統看護学講座 専門分野 精神看護学1・2 医学書院

参考文献 : 生涯人間発達論

令和5年度シラバス(第二看護学科)

28期生2年次

授業科目		在宅看護概論	単位	1	学習時間数	30
担当 教員		実務経験	主な実務経験場所			
	久光 寿代 (18)	(有)・無	山口県立総合医療センター			
	非常勤講師 (12)	(有)・無	備考参照			
目的	地域・在宅看護の対象および看護の場を理解し、地域包括ケアシステムにおける保健医療福祉の連携と看護職の役割について理解する。					
目標	1 地域・在宅看護を学ぶ意義と必要性を理解する。 2 地域における人々の暮らしと健康のニーズを理解する。 3 地域・在宅看護の対象者の理解と暮らしを支える看護を理解する。 4 地域・在宅看護に関連する保健・医療・福祉の理解と多職種連携について理解する。					
回	項目	内 容		教授学習方法	担当講師	
1	人々の暮らしと健康のニーズ 地域・在宅看護の役割	1 人々の暮らし (1) 暮らしと健康 (2) 人々が暮らす地域の多様性 (3) 地域・在宅看護の役割 (4) 地域包括ケアシステムと地域共生社会		講義 グループワーク DVD	久光	
2	地域・在宅看護の対象	1 地域・在宅看護の多様性 (1) ライフステージからみた対象者の多様性 (2) 健康レベルからみた対象者の特徴				
3	家族の理解と看護	1 地域・在宅看護の対象者としての家族 (1) 家族の理解 (2) 地域における家族への看護				
4		1 暮らしの環境を整える環境 2 広がる看護の対象への看護の提供方法 3 ライフステージに応じた看護				
5	地域における暮らしを支える看護	1 地域での暮らしにおけるリスク (1) 暮らしにおけるリスクの特徴とマネジメント (2) 居宅等における看護師への暴力・ハラスメントの防止対策 (3) 地域での暮らしにおける災害対策				
6	地域・在宅看護の実践の場と連携	1 地域・在宅看護の実践の場 (1) 住まいで提供される看護 (2) 通所サービスで提供される看護 (3) 施設サービスで提供される看護 2 地域・在宅看護における多職種連携		講義		
7		1 在宅看護にかかわる制度 介護保険制度 医療保険制度 障害者総合支援法 難病法 医療介護総合確保推進法 医療法		講義		
8	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用	1 訪問看護制度の制度 2 訪問看護サービスの仕組みと提供 (1) 訪問看護の利用者と訪問回数 (2) 訪問看護ステーションに関する規程 (3) 訪問看護の利用までの手順・費用 (4) 訪問看護サービスの提供 (5) 権利保障		講義 DVD		
9	介護保険	介護保険の実際		講義	萩市地域包括支援センター 保健師：小谷宣代	
10	地域医療福祉連携室の実際	1 病棟と外来の連携 2 地域との連携 3 地域連携クリニカルパス(退院調整窓口業務) 4 相談業務・地域発信 5 退院調整の実際		講義	長門総合病院 看護師：松野多希子	
11	居宅介護支援事業所の実際	1 ケアマネジメントと社会資源の活用		講義	長門総合病院 介護支援専門員 宮本由美子	
12		市保健センター活動の実際		講義	萩市保健センター 保健師：石川京子	
13・14	地域看護活動	健康福祉センター活動の実際		講義	萩健康福祉センター 保健師：福田敦子 ：大庭麻沙子	
15	試験					

評価の方法：筆記試験・課題レポート (久光 100点)

テキスト：系統看護学講座 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤 医学書院  
 地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実践 医学書院  
 写真でわかる訪問看護 インターメディア

# 令和5年度シラバス（第二看護学科）

28期生2年次

授業科目	在宅看護援助論1 (在宅看護技術・看護実践)	単位	1	学習時間数	30		
担当 教員		実務経験	主な実務経験場所				
	久光 寿代 (16)	○・無	山口県立総合医療センター				
	非常勤講師 (14)	○・無	備考参照				
目的	在宅で暮らす療養者とその家族に看護を実施するための方法を学ぶ。						
目標	1 暮らしを支える日常生活援助技術を理解する。 2 在宅療養の場と在宅療養を支える看護活動の実際と訪問時の留意点について理解する。 3 リハビリテーション期にある対象者の看護を理解する。						
回	項目	内 容	教授学習方法	担当講師			
1	地域における暮らしを支える看護実践	1 暮らしの場で看護をするための心構え (1) 対話・コミュニケーション (2) 療養環境の調整	講義	久光			
2		1 活動・休息の援助 2 栄養・食生活への援助 3 排泄の援助 4 清潔・衣生活の援助	講義	久光			
3			演習				
4							
5 6 7	在宅看護介入時期の特徴と看護	1 在宅療養準備期(退院前)にある療養者の看護 2 在宅療養移行期にある療養者の看護 3 在宅療養安定期にある療養者の看護 4 急性増悪期にある療養者の看護 5 終末期(看取り期)にある療養者の看護	講義	久光			
8	リハビリテーション看護	1 リハビリテーションの定義と理念 (1) 障害者の実態 (2) 障害の分類と構造 (3) リハビリテーションの分類	講義・演習	長門総合病院 理学療法士： 大谷一章			
9		2 運動器系の障害の動向 3 関節リウマチのリハビリテーション 4 骨折のリハビリテーションプログラム 5 中枢神経障害のプログラム					
10		1 言語聴覚療法 2 失語症・嚥下障害	講義			長門総合病院 言語聴覚士： 山根祐樹	
11		1 リハビリテーションに関わる職種 2 ADL・廃用症候群	講義			長門総合病院 作業療法士： 木下大介	
12		1 訪問看護の概要 2 訪問看護師の役割 3 目指す訪問看護師 4 訪問看護の内容	講義			訪問看護ステーション 陽向 看護師： 阿武由美子	
13	5 訪問看護の実際(訪問の仕方) 6 終末期にある療養者への看護 7 難病にある療養者への看護 8 小児(医療的ケア児)の療養者への看護 9 多職種連携・多職種チームでの協働						
14	1 訪問時の基本的なマナー	講義・演習		波多野医院 波多野加保理			
15	試験						

評価の方法：筆記試験・課題レポート（配点：大谷20点 山根10点 木下10点 久光60点）

テキスト：系統看護学講座 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤 医学書院

地域・在宅看護論2 地域・在宅看護の実際 医学書院

写真でわかる訪問看護 インターメディアカ

令和5年度シラバス(第二看護学科)

科目名	成人看護学実習 (急性期)	担当 教員	林 千恵子	開講 年次	2年次～ 3年次	単位数	2	時間数	90
実務経験	臨地実習のため、「実務経験のある教員等による授業科目」に該当								
目的	成人期にある対象を理解し、健康の各段階にある対象及びその家族に対し看護ができる基礎的能力を養う。								
目標	<p>(1) 成人期にある対象を身体的・精神的・社会的側面から理解する。</p> <p>(2) 成人期にある対象の健康上の課題を判断し、解決に導く方法を学ぶ。</p> <p>(3) 成人期にある対象の健康段階・障害の程度・治療過程に応じた看護の必要性を認識し、看護に必要な技術を身につける。(手術期)</p> <p>(4) 成人期にある対象及び家族とのよい人間関係を成立させる能力を身につける。</p> <p>(5) 健康の各段階にある対象および家族との関わりをとおして生命の尊厳と人格を尊重する態度を養う。</p> <p>(6) 健康回復に向けて継続看護の必要性を認識し、保健・医療・福祉チームの一員として、看護の役割を理解する。</p> <p>(7) 看護師に必要な態度を養う。</p> <p>(8) 成人看護学実習をとおして、看護観を深める。</p>								
実習計画	<p>1 実習期間 12日間</p> <p>2 実習施設 萩市民病院 (東病棟・西病棟・手術室)</p> <p>3 実習方法 手術を受ける患者を受持ち、看護過程を展開し周手術期に必要な看護を行う。 受け持ち患者の手術を見学する。</p> <p>(1) 病棟オリエンテーション、手術室オリエンテーション(実習1日目)</p> <p>(2) 初期計画検討カンファレンス(手術見学の日程を考慮し調整する) 全体像・看護診断・看護計画を提示し、検討する。</p> <p>(3) 学びの会(両病棟合同)(実習11日目) 情報共有し、学びを深める。</p> <p>(4) 学内実習 (実習5日目頃) 対象理解を深めるため、アセスメントの整理や看護計画の修正を行う。 テーマカンファレンス 事例に合わせた技術練習を行う。 (実習12日目) 実習の経験を振り返り、自己の学びをまとめる。文献などでエビデンスを確認する。 グループで情報共有を行い、学びを深める。</p>								
評価方法	実習評価表に基づき、実習場面の観察、実習記録の記載状況、個人面接、実習レポートにより総合的に評価する。								
テキスト	成人看護学概論、臨床外科看護総論、臨床外科看護各論、成人看護学各テキスト、資料								

令和5年度シラバス(第二看護学科)

授業科目	老年看護学実習	担当 教員	渡辺 英子	開講 年次	2年次～ 3年次	単位数	2	時間数	90
実務経験	臨地実習のため、「実務経験のある教員等による授業科目」に該当								
目的	老年期にある対象の特徴を理解し、健康の各段階にある対象及びその家族に看護ができる基礎的能力を養う。								
目標	<p>目標</p> <p>(1) 老年期にある対象を身体的・精神的・社会的側面から理解する。</p> <p>(2) 老年期にある対象の健康上の課題を判断し、解決に導く方法を学ぶ。</p> <p>(3) 老年期にある対象の健康状態及び生活環境に応じた基礎的看護技術を学ぶ。</p> <p>(4) 老年期にある対象及びその家族と良い人間関係を成立させる能力を身につける。</p> <p>(5) 老年期にある対象及びその家族との関わりをとおして、生命の尊厳と人格を尊重する態度を養う。</p> <p>(6) 老年看護における保健・医療・福祉チームの一員としての看護師の役割を理解する。</p> <p>(7) 看護師に必要な態度を養う。</p> <p>(8) 老年看護学実習をとおして老年観、死生観、看護観を深める。</p>								
実習計画	<p>実習計画</p> <p>1 実習期間 12日間</p> <p>2 実習施設 都志見病院(5階病棟・6階病棟・透析室)</p> <p>3 実習方法</p> <p>老年期にある対象を受け持ち、看護過程を展開し必要な看護を行う。</p> <p>(1) 病棟オリエンテーション(実習1日目)</p> <p>(2) 初期計画検討カンファレンス(実習3～4日目頃)</p> <p>全体像・看護診断・看護目標・看護計画を提示し、検討する。</p> <p>(3) 中間評価検討カンファレンス(実習7～8日目頃)</p> <p>看護計画の評価・今後の看護の方向性を確認する。</p> <p>(4) 学びの会(両病棟合同)(実習11日目)</p> <p>情報共有し、学びを深める。</p> <p>(5) 透析室実習(1日間:実習2週目以降)</p> <p>血液透析と透析室看護の実際を見学する。</p> <p>療養者と関わり、日常生活の実際を知る。</p> <p>(6) 学内実習日</p> <p>(実習5日目頃)</p> <p>対象理解を深めるため、アセスメントの整理や看護計画の修正を行う。</p> <p>テーマカンファレンス</p> <p>事例に合わせた技術練習を行う。</p> <p>(実習12日目)</p> <p>実習での経験を振り返り、自己の学びの確認をする。文献などでエビデンスを確認する。</p> <p>グループで情報共有を行い、学びを深める。</p>								
評価方法	<p>評価方法</p> <p>実習評価表に基づき、実習場面の観察、実習記録の記載状況、個人面接、実習レポート、カンファレンスの参加状況などを総合的に評価する。</p>								
テキスト	<p>テキスト</p> <p>講義で使用したテキストおよび資料</p>								

令和5年度シラバス(第二看護学科)

科目名	小児看護学実習	担当 教員	光来 千尋	開講 年次	2年次～ 3年次	単位数	2	時間数	90
実務経験	臨地実習のため、「実務経験のある教員等による授業科目」に該当								
目的	小児の成長・発達を理解し、健康な小児と健康を障害された小児及びその家族に看護ができる基礎的能力を養う。								
目標	<p>目標</p> <p>(1) 小児の成長・発達段階、健康状態、及び小児をとりまく環境を理解する。</p> <p>(2) 小児の特徴を理解し、成長・発達を促し健康課題の解決につながる看護を学ぶ。</p> <p>(3) 小児の成長・発達及び健康状態に応じた基礎的看護技術を学ぶ。</p> <p>(4) 小児及び家族との人間関係を築き、発展させるための働きかけを学ぶ。</p> <p>(5) 小児の生命の尊厳と個々の人格を尊重する態度を養う。</p> <p>(6) 小児に関する保健・医療・福祉・教育の協働の重要性を認識し、チームの一員としての看護師の役割を理解する。</p> <p>(7) 看護師に必要な態度を養う。</p> <p>(8) 小児看護学実習をとおして、小児観、看護観を深める。</p>								
実習計画	<p>1 実習期間 12日間</p> <p>2 実習施設 萩市民病院 東病棟 小児科外来 萩市保健センター 萩市山田保育園 明倫小学校・椿東小学校・椿西小学校</p> <p>3 実習方法 実習ラウンドに基づき、それぞれの実習場所に分かれ、実習を行う。</p> <p>(1)病棟実習(4日間) 入院中の小児を受け持ち、看護過程を展開し、必要な看護を実施する。 学びの会(病棟実習最終日) 情報共有し、学びを深める。</p> <p>(2)外来実習(1日間) 外来を受診している小児の診察、乳児健診、予防接種の見学と介助を行う。</p> <p>(3)保健センター実習(1日間) 保健センターで行われる母子保健事業(乳幼児健診、健康相談)に参加し、身体計測を行う。 小児の成長発達の実際とその評価方法、家族の育児支援、他職種との連携を見学する。</p> <p>(4)保育園実習(2日間) 0～1歳児、2～3歳児、3～4歳児の各クラスで、デイリープログラムに沿って児と関わる。</p> <p>(5)小学校実習(2日間) 保健室や学級で児と関わり、保健室や授業の展開に沿って実習する。 他職種との連携について見学する。</p> <p>(6)学内学習日(2日間) (実習1日目) 身体計測のシミュレーションを行う。 (実習12日目) 実習での経験を振り返り、自己の学びをまとめる。文献などでエビデンスを確認する。 グループで情報共有を行い学びを深める。</p>								
評価方法	<p>評価方法</p> <p>実習評価表に基づき、実習場面の観察、実習記録の記載状況、個人面接、実習レポートにより総合的に評価する。</p>								
テキスト	<p>授業・演習で用いたテキスト、資料</p>								

令和5年度シラバス(第二看護学科)

授業科目	母性看護学実習	担当 教員	戸川 優子	開講 年次	2年次～ 3年次	単位数	2	時間数	90
実務経験	臨地実習のため、「実務経験のある教員等による授業科目」に該当								
目的	妊娠・分娩・産褥各期及び新生児期にある対象の特徴を理解し、母子とその家族に必要な看護ができる基礎的能力を養う。								
目標	<p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 妊娠・分娩・産褥各期及び新生児期にある対象の特徴を理解する。</li> <li>(2) 褥婦・新生児の状態に応じた健康上の課題を判断し、解決に導く方法を学ぶ。</li> <li>(3) 妊娠・分娩・産褥各期及び新生児期に必要な看護技術を学ぶ。</li> <li>(4) 妊娠・産婦・褥婦及びその家族と良い人間関係を成立させる能力を身につける。</li> <li>(5) 妊婦・産婦・褥婦・児(胎児)及びその家族との関わりをとおして生命の尊厳と人格を尊重する態度を養う。</li> <li>(6) 母性看護における継続看護の重要性を認識し、保健・医療・福祉チームの一員としての看護師の役割を理解する。</li> <li>(7) 看護師に必要な態度を養う。</li> <li>(8) 母性看護学実習をとおして、母性観・父性観、看護観を深める。</li> </ol>								
実習計画	<p>1 実習期間 12日間</p> <p>2 実習施設 長門総合病院(10日間) 東3階病棟 産婦人科外来</p> <p>3 実習方法</p> <p>実習ラウンド表に基づき、学生1～2名でそれぞれの実習場所に別れ、実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 病棟・外来オリエンテーション・手術室オリエンテーション(実習2日目)</li> <li>(2) 褥室(5～6日間) 褥婦を受け持ち、看護過程を展開し必要な看護を行う。 ケースカンファレンスを行う。</li> <li>(3) 新生児室(2～3日間) 新生児1人を受け持ち、日数に応じた経過をたどっているかアセスメントし、必要な看護を行う。 新生児の看護やハイリスク新生児に関する知識・技術を習得する。</li> <li>(4) 分娩室(1日間) 分娩見学をとおして看護に関する知識、技術を習得する。</li> <li>(5) 産婦人科外来(1～2日間) 2人の妊婦を受け持ち、妊娠経過をアセスメントし、必要な看護を行う。</li> <li>(6) 学びの会(実習11日目)</li> <li>(7) 学内学習日 (実習1日目) 産褥期・新生児の事例をもとにシミュレーションを行う。 妊婦の健康診査のシミュレーションを行う。 (実習12日目) 実習での経験を振り返り、自己の学びをまとめる。文献などでエビデンスを確認する。 グループで情報共有を行い、学びを深める。</li> </ol>								
評価方法	実習評価表に基づき、実習場面の観察、実習記録の記載状況、個人面接、実習レポートにより総合的に評価する。								
テキスト	講義で使用したテキストおよび資料								